

懇親会 他
利用責任者が必要です。NPO法人滑川宿まちなかみ
保存と活用の会の正会員または賛助会員であること。
お申し込みは、事前の予約と打ち合わせが必要です。

<利用条件>



10月 酒蔵アート
地元芸術家を中心にも多彩な
ジャルの作品を展示

毎月月末
土曜・日曜 骨董市
<その他の主な行事>
・琵琶、琴、大正琴の演奏会
・各種コンサート

NPO法人 滑川宿まちなかみ保存と活用の会

<事務局> 〒936-0063 富山県滑川市瀬羽町1862
●イベント催事等担当／小森 忠
TEL: 090-6275-1419 E-mail: tayu-yoshu.3to1@palette.plata.or.jp
●家屋保守管理調査担当／中野重光
TEL: 076-451-6488 E-mail: iwana.1948.1952@nifty.com
●入会受付／その他／城戸拓一
TEL: 080-7002-9784 E-mail: takuichikido@gmail.com

このガイドは、とやままいまちづくり推進懇話会の助成を受けて作成しました。

4月 NPO法人滑川宿まちなかみ保存と活用の会設立
11月 富山県うるおい環境とやま賞（ひかりの賞）受賞
平成26年 3月 小澤家住宅蔵屋根部、城戸家住宅主屋の修復
12月 旧土肥家の修復「伝統文化研究、有隣庵」と称す。
平成27年 3月 映画撮影ロケ地となる
平成28年 6月 富山テレビACTクラブ賞受賞

8月 田中学校旧校舎が国登録有形文化財に登録
8月 養照寺本堂、国登録有形文化財に登録
菅田家主屋・衣装蔵、国登録有形文化財に登録
有隣庵、国登録有形文化財に登録
滑川館本館・道具蔵、国登録有形文化財に登録
樺原神社（本殿等4件）国登録有形文化財に登録

ふるさと滑川のまちなみを残したい

滑川市は、日本アルプスの山々を背にして富山湾に臨み、四季折々の美しい豊かな自然と風土に恵まれた地です。

江戸時代以降の旧滑川町域は、北陸街道沿いの宿場町として、また加賀藩の年貢米など当地域の物資集散の港町として大いに賑わいました。

当時の様子は、旧滑川町域に数多く残されている社寺建築や町屋や土蔵、そしてそれらが作り出すまちなみによつて窺い知ることができます。

1954年（昭和29年）に、旧滑川町は周辺6村との合併を経て滑川市となりました。

1960年代からは郊外での宅地開発が盛んになり、かつて繁栄した旧滑川町域からも人口の流出がありました。

今では住民の高齢化や空き家の増加、建物の老朽化など町の空洞化が顕著になっています。

「NPO法人 滑川宿まちなかみ保存と活用の会」は、いろいろな方々のお知恵をいただき、楽しみながら歴史的・伝統的都市景観を保存し、この地に伝えられた歴史・文化を、地域の発展へとつなげていく活動に取り組んでいます。

滑川宿まちなかみガイド



